

平成30年6月20日(水)

梅雨

梅雨とは、東アジアの広範囲においてみられる特有の気象現象で、5月から7月にかけて毎年めぐって来る曇りや雨の多い期間のこと。

梅雨の時期は、しとしと、あまり雨脚の強くない雨が降ったりやんだりしながらひと月以上続き、食中毒が発生しやすくなる。

人間は体調を壊したり、心を病んだりしがちな季節であるが、蝸牛(カタツムリ)や蛞蝓(ナメクジ)や虫にとっては、しっとりと過ごしやすい優しい季節である。

梅雨という季語には副題が多いが、ここで代表的なものを紹介しておく。

- ・ 霪雨(ばいう)： カビの雨と書いて「ばいう」と読ませることができる。
- ・ 荒梅雨(あらづゆ)： 激しく降ることの多い梅雨。もしくは梅雨のうちでも特に雨量の多い時期。梅雨の後半にはしばしば集中豪雨が災害を引き起こす。
- ・ 空梅雨・旱梅雨： 雨の乏しい梅雨。水不足が心配される。

なお、五月雨(さみだれ)とは陰暦五月に降る雨のことで、梅雨のことと考えて差し支えない。

ただし、梅雨という季語が、雨そのもののほかに雨季も指すのに対し、五月雨が指すのは雨そのものである。

ここで一句

今朝咲きし くちなしの又 白きこと 昭和期の俳人、星野立子
クチナシの花の香りが届くようです。